第５学年3組　算数科学習指導案

**１　題材名**　三角形の面積

**２　本時の学習指導**

1. 目標

○三角形の面積を、長方形や平行四辺形に帰着して求めることができる。(数学的な考え方)

○三角形の面積が公式を用いて求められる。(数量や図形に関する技能)

（２）展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習指導 | 指導上の留意点 | 時間 |
| 問題場面：ワークシートの三角形の面積を求めよう  １　本時の問題場面について知り、  課題をつかむ。  C1 三角形の面積は底辺×高さ÷2で求められるよ  C2 高さはどこにあるのかな  C3 平行四辺形と同じように図形を移動させるのかな  課題：三角形の面積の求め方を考えよう  2 課題について考える。  C1 三角形は二つ使っていいのかな  C2 どこから図を切り貼りすればいいかな  3 考えを発表する。  C1 どの方法でも同じ結果になった  C2 どの方法にも式に÷2が入っているよ  4 各自で練習問題を解いて、答え合わせをする。 (P.178 2 )。  5 各自で練習問題を解いて、答え合わせをする(P.179 🍎)。  C1 底辺と高さを測ったけれど3.1cmになってしまい、計算が面倒だな  6 各自で練習問題を解いて、答え合わせをする(P.179 ✏1)。  7 本時のまとめをする。 | ○すでに長方形、平行四辺形の面積の求め方を学んでいることを確認する。  ○C1のように既に公式を知っている児童に対しては、どうしてその公式を導き出すことができるのか考えさせる。  ○ワークシートに描かれた三角形をどのように変形すると長方形や平行四辺形になるか問う。  ○変形させるだけでなく、長方形や平行四辺形の面積の求め方を用いてどのように解くか式も考えさせる。  ○自分で考えることができたら、周りの人がどんな答えを考えたのか見てみようと指示する。  ○児童が三角形を変形する様子や面積を求めた式を書画カメラで投影する。  ○3つの変形方法に共通するものは何か問う。  ○板書で公式を示す。  評三角形の面積を、長方形や平行四辺形に帰着して求めることができる。(数学的な考え方)  ○公式を正しく使うことができているか確認する。  ○三角形の高さがどこであるか理解しているか確認する。  ○高さの線が引かれていないため、正しく高さを示す線を描くことができているか確認する。  ○解き終えた児童には次の✏1を解くように指示する。  ○各自定規で長さを測るため、C1のような児童がいると予想される。そのため、長さを定規で測るが、ミリ単位で読み取る必要はないということを伝える。  ○高さは三角形の頂点から垂直に引いた直線の長さであることを呼びかける。  ○公式についてもう一度確認する。  まとめ：三角形の面積は、底辺×高さ÷2で求められる。    評三角形の面積を求めることができる。  （数量や図形に関する技能） | 3分  10分  10分  5分  7分  7分  3分 |

**３　備考**　在籍児童数　35名

右の三角形で、辺BCを底辺としたとき、頂点Aから底辺に垂直にひいた直線ADの長さを高さといいます。

三角形の面積=底辺×高さ÷2　　



　　　　　式①　　　　　　　　式②



式①　　　　　式②　　　　　式③

平行四辺形の面積÷2=三角形の面積

↳底辺と高さが分かればとける！

式

三角形の面積の求め方を考えよう。

模造紙